



うまさぎっしり
新潟

出雲崎旅BOOK

こしあつたあ、こつあつたあ

ゆったり流れる時間に恋してみませんか？

スタンプラリー
開催中
STAMP RALLY

詳しくはP.14,15,16へ

平成28年度 出雲崎の四季フォトコンテスト 最優秀賞
「天の川の下で」 新潟県柏崎市 村山 勝也

ようこそ出雲崎へ

歴史、文化、海… 出雲崎の香りは心地いい。

新潟県のほぼ中央。出雲崎町は雄大な日本海をのぞみ小高い山々に囲まれた、自然豊かな町です。
その景色は神話に出てくる大国主命おほくにのみことが、生まれ育った「出雲の国」に似ていることから「出雲崎」という地名をつけたと伝えられています。

出雲崎町は江戸時代には佐渡から金銀を荷揚げし、江戸まで運ぶ中継地として栄え、古代より湧き出る、石油の産地として知られ日本で初めて機械掘りに成功した近代石油産業発祥の地でもあります。

今も多くの人に慕われる良寛さんは出雲崎の生んだ偉人。私たちの心のよりどころです。

息をのむほど美しい日本海に沈む夕日。新鮮な海の幸に舌鼓。郷愁を誘う伝統の品。

そんな歴史や食・文化など、魅力あふれる出雲崎町をご紹介します！

INDEX

出雲崎町の紹介 02

歴史 04

越後出雲崎天領の里 08

特産品・グルメ 10

伝統行事 12

スタンプラリー 14

ボランティアガイド 17

ガイドマップ 18

子供たちと毬をつき、民と酒を交わした名僧「良寛」。 彼が遺した日本美の極致と、その逸話を知る。

良寛(1758~1831年)は、越後出雲崎に生まれた江戸時代後期の禅僧です。詩人・歌人、そして日本美の極致と評された書家としてその名を馳せた良寛は、無欲恬淡な性格で生涯寺を持たず、自らの質素な生活を示す事や、簡単な言葉によって一般庶民に解り易く仏法を説きました。その姿勢は一般民衆のみならず、様々な人々の共感や信頼を得ることになりました。良寛は「子供の純真な心こそが誠の仏の心」と解釈し、子供達を愛し積極的に遊んだと云われ、高名な人物からの書の依頼は断りながらも、子供達から凧に文字を書いて欲しいと頼まれた時には喜んで書いたと云われています。

また、僧侶でありながら酒を好み、良寛を慕う民と頻りに杯を交わしました。そんな良寛の遺墨や遺物、文献等が、ここ出雲崎には多数点在しています。

史跡をゆっくりと辿りながら、慈愛に満ちた名僧良寛の魅力溢れる人柄に触れ、心安らかなひとときを過ごしてみたいはいかがですか。

■良寛堂

良寛の母のふるさと佐渡島を背景に、日本海に浮かんでいるように設計された浮御堂。良寛が常に持ち歩いたという石地蔵をはじめ込んだ多宝塔が安置されています。



■良寛堂の裏手

海を背に立つ良寛堂の裏手には、日本海を眺める良寛像が、よく晴れた日には、その視線の向こうに、良寛が母を偲んで眺めたと言われる佐渡島が見えます。



名僧良寛が生まれたまち。

さあ

行こう。

■良寛記念館

妻入りの街並みを見下ろす小高い丘に建つ記念館。展示室には良寛の壮年期から晩年期までの遺墨の他、良寛の逸話をテーマにした棟方志功などの作品も並んでいます。



■休憩所 心月輪

良寛記念館の隣にあるお休み処。休憩所心月輪内の飲食ができる「Brasserie Café Repas」では、豊富なドリンクメニューのほか、出雲崎の昔ながらのラーメンやステーキ、ハンバーグ、カレーなど充実のフードメニューが揃っています。

良寛さんの姿を追って、てくてく歩き。



■円明院

良寛の生家橘屋山本家の菩提寺。この寺の第10世住職は31歳で亡くなった良寛の弟、有澄でした。



■光照寺

越後三十三観音霊場の第十九番札所。良寛が備中玉島の円通寺へ修行に赴くまでの4年間、ここで禅の修行に励みました。



■西照坊

若き日の良寛もしばしば訪れていたという小堂。帰国した良寛は生家が争いの渦中にあると知ると、ここに仮住まいをして見守ったと言われています。

由緒ある神社仏閣なども多く点在する、この風情あふれる街道を“ぶらり”と歩きながら、ちょっとしたタイムスリップを体験してみませんか？



歩

歩いてみよう、妻入りの街並み。

良寛ゆかりの地を訪ねて歩く。

良寛生誕の地として知られる出雲崎町は、遠く神話時代に大国主命によって開拓されたと伝えられております。また、芭蕉詠嘆の地、江戸時代の天領地、近代石油産業発祥の地として歴史の深い町でもあります。特に江戸時代は天領地として佐渡の金銀荷揚げや北前船の寄港地として栄華を極め、多くの人々が行き交い、人口約2万人、人口密度は越後一と言われました。

当時の面影を残す街並みは、家と家とが重なり合うように軒を連ね、家の「妻」の部分が通りに面した「妻入り」という建築様式で、海岸線に沿い約3.6キロも続いており、これは日本一の長さです。多くの人々が居住できるように間口が狭く、奥行き長い妻入りの形式がとられていました。また、当時は間口によって税金が掛けられていた為、二間や三間半の家が多く並んでいます。この、全国でも珍しい「妻入りの街並み」の散策に訪れる人も多く、街並み景観保存事業も進んでいます。



■石井神社

良寛堂からほど近い、細く長い階段を上った見晴らしの良い高台に、出雲崎総鎮守である石井神社があります。この石井神社は、良寛の生家である名主橋屋山本家が神事を司っていました。良寛の父が神官を務めていた事もあり、きっと子供の頃の良寛もこの境内で遊び、鳥居の向こう側に広がる出雲崎の街並みと日本海を眺めていたのではないのでしょうか。



■良寛と夕日の丘公園

良寛記念館脇の高台にある公園。良寛の母のふるさと佐渡を向かいに、右手に弥彦山、眼下に良寛堂、妻入りの街並みを一望できる絶好のロケーションが広がります。

歴

史がぎゅつと。出雲崎の史跡巡り。

文化のまち出雲崎で郷土の歴史に触れる。

江戸時代に北国街道の宿場町として栄えた出雲崎は、多くの文人墨客が往来しました。後に日本を代表する紀行文学「奥の細道」で知られる松尾芭蕉もその一人で、旅の途中で弟子達と共に、ここ出雲崎へも立ち寄り、名句を残しています。その他にも、幕府の直轄地でもあった出雲崎には様々な文化史跡が町のあちこちに静かに佇んでおり、貴重な歴史資料から、往時をしのぶことができます。



■芭蕉園

芭蕉真筆の「銀河の序」全文を刻んだ句碑が立つ庭園。1689年(元禄2年)7月4日、俳人松尾芭蕉は奥の細道の旅の杖をここにどめ、名吟「荒海や 佐渡によこたふ 天河」の句を残しました。1954年(昭和29年)7月、この「銀河の序」全文を刻んで句碑にし、その周りを庭園とし、芭蕉園と名付けました。この場所は廻船問屋敷屋敷の跡地で、また向かいには芭蕉が一泊したと伝えられている「大崎屋跡」があります。

■勝見稲荷堂

守神は7.5cmの弥檀木像坐体で、源義経の兜の守護神を本尊として建立されたとの伝説があり、古くから多くの信仰を集めています。



■獄門跡

処刑人の供養塔が建立されている獄門跡。安置された地藏尊と老榎が当時を偲ばせます。良寛は首切りの立会いが嫌で出家をしたと言われています。



■代官所跡

幕府の天領となった出雲崎は越後で最初に代官所が置かれた地です。何度か移転し1808年(文化5年)にこの場所に移され、そのまま明治維新を迎えました。



■孝婦ゆりの碑

旅稼ぎ大工の妻ゆりは、夫の不在を守り病気の姑につかえ、子女の養育につとめました。徳川幕府は撰文し、全国に伝え婦女の鑑としました。



■俳諧伝灯塚

芭蕉、芭蕉門下2世の東華坊、3世の盧元坊と3代に渡ってこの地を訪ねた俳人が詠んだ句を刻し、建立されたと伝えられています。



荒海や
佐渡によこたふ
天河
芭蕉

妻入りの街並みの中にある芭蕉園には旅支度で佇む芭蕉像が、その穏やかな表情に、ほっと心が安らぎます。

江戸時代の栄華へ
タイムスリップ。

出雲崎は1616年(元和2)江戸幕府の財政を支える佐渡金銀荷揚げ港として、越後で初めて7万石の代官所が置かれた幕府直轄の天領地となりました。その時代背景を再現したのが「天領出雲崎時代館」です。館内に入ると最初に代官所で「ロボ代官様」がお客様をお迎えし、展示ホール等には金銀荷揚げ「御奉行船」をはじめ、江戸時代の街並みなどが音響・照明でリアルに演出されています。出雲崎名産品の「紙風船」作り体験コーナーもあり、また、オーシャンビューのレストラン「陣や」、物産販売店などもあります。

400年の時を越える 時代旅行へ。



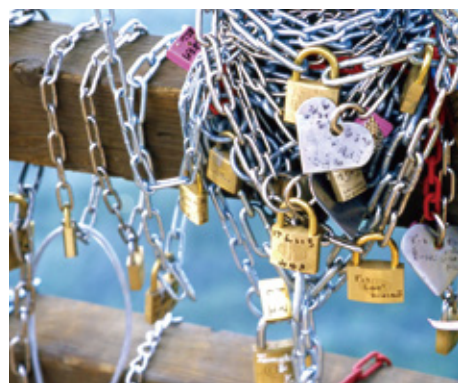
「燃える水」から日本の
近代石油産業の発祥へ。

■ 出雲崎石油記念館

出雲崎は日本で初めて石油の機械掘削に成功したことで知られる近代石油産業発祥地。この石油記念館は天領出雲崎時代館と併設され、館内に「もえる水」といわれた古代石油発見期の掘削方法から近代ロータリー式掘削法に至るまでの歴史、時代を反映する灯具などが展示されています。そのほかイベントで年に1回、石油発動機の運転会を開催しています。



笑顔がはじける！
県内有数の
レジャー施設!!



■ 夕風の橋

日本海についだした観光ブリッジの「夕風の橋」は絶好の夕日スポット。橋の欄干に鎖を結び、鍵をかけると「永遠の愛で結ばれる」と言う噂が広まって、いつしかこの橋は「縁結びの橋」と呼ばれるようになりました。今では一年に数百組もの恋人たちが訪れる話題のスポットになっています。

■ 紙風船づくり

誰でも一度は手にしたことのある紙風船。昭和初期頃までは首都圏でも盛んに作られていましたが、時代の流れとともに、今ではそのほとんどがここ出雲崎で作られています。素朴で情緒豊かな紙風船づくりが、時代館内で体験できます。(お一人様:200円)※要予約



【道の駅 越後出雲崎 天領の里

【天領出雲崎時代館】【出雲崎石油記念館】【観光物産センター】【レストラン陣や】

新潟県三島郡出雲崎町大字尼瀬 6-57 TEL / 0258-78-4000(代)
休館日/第1水曜日(5、8月無休)、年末年始(12月29日~1月3日)
その他/時代館、館内ガイドサービス 営業時間/9:00~17:00
ホームページ/ <http://www.shidax.co.jp/tenryo/>

出雲崎より愛を込めて。 味めぐり、ものづくり。

海の幸と手作りの味わいをいただく。

出雲崎のお土産といえば、ぜひ一度味わって欲しい「浜焼き」もそのひとつです。朝早くから熾した炭火で、獲れたて新鮮な魚介類を一本一本丹念にあぶった浜焼きは、さすが港町の味わい。遠赤外線によりじっくりと焼き上がり、うまみが凝縮され絶品です。もともと保存食であるため贈答品としても重宝されており、ふるさとの味をご家庭で味わうことができるので、ぜひお土産に。

また、古くから多く栽培されている釜谷梅や今となっては珍しい紙風船、良寛生誕の地にちなんだ自慢の逸品など、出雲崎ならではのお土産が沢山。

ぶらりと妻入りの街並みを散策しながら、思い出に残るお気に入りを見つけてみるのもまた楽しいひとときです。



釜谷梅



浜焼き

サザエの 炊込みご飯

地元出雲崎漁港で水揚げされる新鮮なサザエを一番ダシで炊き込んだ、磯の風味とサザエの食感が魅力の逸品。県内外で話題の味を求め、わざわざ足を運ぶ人も大勢います。2013国際ご当地グルメグランプリ総合グランプリ受賞!!



紙風船

出雲崎町で昔から冬場の手仕事として盛んにおこなわれていた紙風船作り。今も昔ながらの方法で手作りされています。シンプルなものから変わり種の朱鷺やタコなど、種類は様々。かさばらない海外土産としても人気です。

良寛 せんべい



良寛の言葉が一枚一枚焼印で押してある、素材で懐かしい味のおせんべい。手の平サイズの大きなおせんべいの表面には、良寛の筆跡そのままの焼印が。箱に入ったしおりで意味を解読しながら食べるのも楽しいかもしれません。

もずくめん

麺に日本海産のもずくを練りこみ、シコシコとした食感と磯の香りが楽しめる新感覚の麺。うどん風やラーメン風、パスタ風など様々な調理法でお召し上がりいただけます。



いかの 白づくり 塩辛

麺を使った甘口の塩辛。素材の旨味を活かした、他では食べられない味わいのお出雲崎の名産です。夏季は製造しない期間限定の商品なので、見つけたら即買いをおすすめします。



車麩

昭和2年創業の製麩所が作る、ムラなく均一な焼き上がり自慢の車麩。巻いては焼き、巻いては焼きの作業を繰り返して製造する車麩は、和洋中どんな料理にも合うと人気を集めています。



良寛牛乳

新潟県の酪農家が生産する良質な生乳を使った良寛牛乳。新潟県民なら誰もが一度は目にしたことがあるパッケージはとてもシンプルでキャッチー。良寛牛乳を片手に出雲崎を散策してみたいいかがでしょう。





たくさんの個性と元気な笑顔が、
出雲崎のエネルギー。

昔ながらの伝統や風習、文化が今なお息づく出雲崎。独特の風土の中で、年間を通じて行われる伝統行事やお祭りは、まちの活性化につながっています。
春夏秋冬それぞれの出雲崎の顔、みにきてみませんか？

1月

獅子舞

出雲崎の正月の伝統行事。調子のいい太鼓や笛の音と共に、威勢のいい獅子が街並みの家を悪魔祓いしながら一軒一軒回ります。特に金ピカ獅子頭の住吉町の「館獅子」は見もの！

伝統行事を楽しもう！

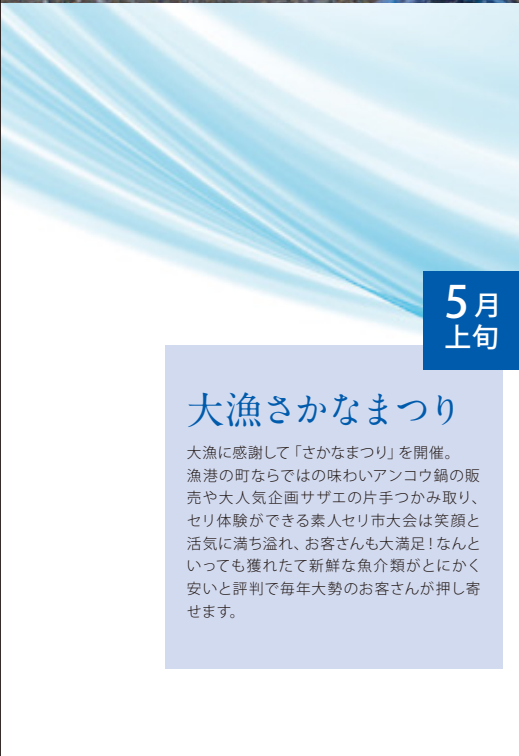
町

民パワーにびっくくり！

出雲崎大祭

石井神社の神官であった良寛の生家名主橋屋山本家によって「海上安全祈願祭り」として始まったのが由来。
今も50店余りの露店が沿道に立ち並び、良寛堂から大人神輿や子供神輿が出て妻入りの街並みを練り歩き賑わっています。

6月
17日



5月
上旬

大漁さかなまつり

大漁に感謝して「さかなまつり」を開催。漁港の町ならではの味わいアンコウ鍋の販売や大人気企画サザエの片手つかみ取り、セリ体験ができる素人セリ市大会は笑顔と活気に満ち溢れ、お客さんも大満足！なんといっても獲れたて新鮮な魚介類がとにかく安いと評判で毎年大勢のお客さんが押し寄せます。



8月
15日

船まつり・大花火大会



大漁と海上安全を祈願する伝統行事「船まつり」。大漁旗を掲げた漁船による船団パレードは勇壮そのもの！先着で無料乗船もできます。夜は花火大会が開催され、会場の漁港での観覧は打上現場が至近距離で音も見た目も迫力満点です。

■このほかにも町の年間イベントがあります。詳しくはお問い合わせ又は出雲崎町観光協会ホームページ等をご覧ください。

出雲崎町 スタンプラリー

IZUMOZAKI
STAMP RALLY

ステキな賞品が
当たる!?

スタンプラリーのルール

- ・スタンプ欄にスタンプを押しながら出雲崎町を周遊します。
- ・スタンプ設置場所は全部で5ヶ所です。
- ・5ヶ所全てのスタンプを集めたら、このページをスタンプ設置場所のスタッフに提出し、チェックを受けます。
- ・応募ハガキに確認印をもらい、必要事項をお書きになり、切り離して投函してください。(恐れ入りますが切手を貼って投函してください)
- ・開館時間外や休館日は押印できませんのでご注意ください。
- ・賞品は厳正な抽選の上、当選された方へ3月中の発送を予定しております。

No.1 ホット情報館陽だまり



No.2 北国街道妻入り会館



No.3 良寛記念館



No.5 休憩所心月輪



No.4 道の駅越後出雲崎天領の里



スタンプ 設置場所

No.1 ホット情報館陽だまり

- 開館時間：午前8時30分～午後6時00分
- 休館日：年末年始(12月31日～1月1日)
- ☎0258-94-5147

No.2 北国街道妻入り会館

- 開館時間：午前9時00分～午後6時00分(10月～3月は午後5時00分閉館)
- 休館日：年末年始(12月29日～1月1日)
- ☎0258-78-3700

No.3 良寛記念館

- 開館時間：午前9時00分～午後5時00分
- 休館日：11月～3月の毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
- ☎0258-78-2370

No.4 道の駅越後出雲崎天領の里

- 開館時間：午前9時00分～午後5時00分
- 休館日：第1水曜日(5月、8月無休) 年末年始(12月29日～1月3日)
- ☎0258-78-4000

No.5 休憩所心月輪

- 営業時間：月～木/午前10時00分～午後4時00分、金・土・祝/午前10時00分～午後10時00分
- 定休日：水曜日(祝日の場合は営業) 年末年始(12月29日～1月3日)
- ☎0258-78-3115

※スタンプ設置場所の情報は2017年9月時点のものです。営業時間はやむを得ず変更する場合があります。



出雲崎町内に
設置された
スタンプを集めて
ステキな賞品を
ゲットしよう



スタンプに用いている「良寛さん」は、越後出雲崎天領の里及び国民宿舎良寛荘(岡山県倉敷市)のイメージキャラクターです。

賞品内容

※写真はイメージです。

A 良寛さんのお菓子セット

出雲崎の歴史とともに歩んできた「良寛せんべい」や「月の兔」など、良寛さんにちなんだ和菓子セット。お茶の相伴に是非どうぞ!



B 出雲崎の海の幸濃縮セット

日本海の恵みに心を込めて加工したふるさとの味。まさに港町ならではの逸品。ぜひご賞味あれ!



C 紙風船セット

生産量日本一を誇る出雲崎の定番土産。シンプルなものから変わり種まで。どの紙風船もとってもカワイイですよ♡



- 開催期間** 2018年7月1日(日)～2019年2月28日(木)
- 抽選** 3月上旬を予定しています。
- 当選の連絡** 抽選終了後、賞品の発送をもってお知らせします。

確認印

出雲崎町 スタンプラリー

IZUMOZAKI
STAMP RALLY

出雲崎町内に設置された
スタンプを集めてステキな賞品を
ゲットしよう

開催期間

2018年7月1日(日)～
2019年2月28日(木)

抽選

3月上旬を予定しています。

当選の連絡

抽選終了後、賞品の発送を
もってお知らせします。

郵便はがき

恐れ入りますが
切手を貼って
投函してください

9 4 9 4 3 9 2

新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
出雲崎町役場 産業観光課内
「出雲崎町スタンプラリー係」行

住所 〒

氏名 フリガナ

電話番号

年齢

歳

性別

男 ・ 女

希望の賞品

A ・ B ・ C

今後の観光推進のため、ご意見・ご感想、ご要望をご自由にご記入ください。



No.1 ホット情報館陽だまり



No.2 北国街道妻入り会館



No.3 良寛記念館



No.4 道の駅越後出雲崎
天領の里



No.5 休憩所心月輪



観光ボランティアガイド
出雲崎ふるさと語りべがご案内

出雲崎の歴史から
おもしろ話まで
聞いてって
くんなせや

あなたも、
まちあるき
しませんか？



ゆっくりと。しっかりと。てくてく歩いて、出雲崎の魅力に出会う旅。

コース
1 ぶらり良寛と芭蕉巡り

良寛生誕の地であり、芭蕉詠嘆の地。
良寛と芭蕉を中心に歴史浪漫あふれる
出雲崎を巡るコースです。



▲良寛と夕日の丘公園



▲芭蕉園



所要時間	約4時間
集合場所	良寛記念館 (出雲崎町大字米田1)
時期	通年 利用時間 9:00～17:00
移動手段	徒歩
ガイド料金	ガイド1名あたり 4,500円(保険料込) 詳細は下記※の通り

コース
2 出雲崎妻入りの街並み巡り

由緒ある神社仏閣なども多く点在する風情
あふれる街道を“ぶらり”と歩きながら、ちょっと
したタイムスリップを体験
できるコースです。



▶妻入りの
街並み



▲道の駅
越後出雲崎 天領の里



所要時間	約3時間
集合場所	道の駅 越後出雲崎天領の里 (出雲崎町大字尼瀬6-57)
時期	通年 利用時間 9:00～17:00
移動手段	徒歩
ガイド料金	ガイド1名あたり 3,500円(保険料込) 詳細は下記※の通り

お申込み 出雲崎町町観光協会 TEL 0258-78-2291

※ガイド料金につきましては、ガイド1名につき、1時間1,500円。(1時間毎に1,000円増、保険料込)

■本冊子を参考に、お客様のご予算・お時間に合せて、ご案内するお好みコースもごございます。お気軽にお問い合わせくださいませ。

出雲崎町ガイドマップ

歴史・自然、見どころ満載!!

お友達で、カップルで、ご家族で、出雲崎を満喫してね!

マップ凡例

- P 無料駐車場
- GS ガソリンスタンド
- WC 公衆トイレ
- WC 障害者用トイレ
- 〒 郵便局
- EV 電気自動車 充電スタンド
- 赤 宿泊スポット
- 橙 飲食スポット
- 紫 お土産スポット
- 緑 観光レジャースポット
- 青 マリンレジャー

スタンプ設置場所

- 1 スタンプ設置場所 1
- 2 スタンプ設置場所 2
- 3 スタンプ設置場所 3
- 4 スタンプ設置場所 4
- 5 スタンプ設置場所 5

市外局番は0258です



宿泊スポット

- 1 海の家・民宿風林館 ☎78-3015
- 2 割烹御宿たまきや ☎46-2017
- 3 御宿食事喫茶まるこ ☎78-2263
- 4 山崎旅館 ☎78-2012
- 5 割烹御宿みや ☎78-3181
- 6 割烹なごみの宿佐平次 ☎78-2116
- 7 海の家ネットワーク宿泊旅館 ☎78-2100
- 8 季節宿国安 ☎78-4107
- 9 農家民宿かつちゃん ☎78-3658
- 10 農家民宿もりやま ☎78-2492

飲食スポット

- 1 カフェ夢ふうせん ☎78-3457
- 2 鮎・樽蔵 ☎080-7756-0231
- 3 食堂浜かつ ☎78-2117
- 4 夕日食堂SHI-ON ☎78-4430
- 5 ダイニングレストランDio ☎080-6708-8864
- 6 休憩所心月輪 ☎78-3115 (Brasserie Café Repos)
- 7 割烹仙海 ☎78-2017
- 8 殊彩(ナイトin)いづも ☎78-4858
- 9 菊水食堂 ☎78-2223
- 10 みよしの寿司 ☎78-4442
- 11 御食事処大海 ☎78-2642
- 12 スナックニューふれ愛 ☎78-2270
- 13 ドライブインどさん子 ☎78-2178
- 14 割烹おおたに ☎78-3847
- 15 御宿食事喫茶まるこ ☎78-2263
- 1 天領の里レストラン陣や ☎78-4000

マリンレジャー

- 1 金徳丸(釣船) ☎78-3784
- 2 幸栄丸(釣船) ☎78-3276
- 3 平田釣具店 ☎78-2960

お土産スポット

- 1 大黒屋 ☎78-2101
- 2 磯野骨董品店 ☎78-2470
- 3 磯田鮮魚店 ☎78-2578
- 4 金近鮮魚店 ☎78-3859
- 5 船橋屋商店 ☎78-2041
- 6 石井鮮魚店 ☎78-2025
- 7 関根鮮魚店 ☎78-3084
- 8 魚や元 ☎89-8530
- 9 伊達製菓舗 ☎78-2154
- 10 つるや ☎78-2233
- 11 金子編物 ☎78-2237
- 12 休憩所心月輪 ☎78-3115
- 1 天領の里観光物産センター ☎78-4000

観光レジャースポット

- 1 天領の里(時代館・石油記念館) ☎78-4000
- 2 良寛逸話出雲崎油絵館 ☎78-2564
- 3 体験型農園出雲崎いちご畑 ☎080-2025-9881

交通のご案内



出雲崎町 西山インターより
R116バイパス右折

お車

東京から
(関越自動車道利用) 長岡北S.I.C. (R352) 15km 約20分 → 出雲崎
(北陸) ↑ 5.5km

東京(練馬I.C.) (関越) 244.5km 約2時間50分 → 長岡I.C. (R352) 18km 約40分 → 出雲崎
(北陸) ↓ 15.2km

西山I.C. (R116) 15km 約20分 → 出雲崎

新潟から / 約55km…約1時間15分 (国道116号利用)
長岡から / 約20km…約40分 (国道352号 中永トンネル経由)
柏崎から / 約30km…約40分 (国道116号利用)

バス

長岡駅前発 (中永線) 出雲崎車庫行…所要約60分
柏崎駅前発 (海岸線) 出雲崎車庫行…所要約65分
越後交通 (株) 出雲崎案内所 ☎0258-78-2032

JR

上越新幹線 東京から長岡…約1時間40分
JR 出雲崎駅 ☎0258-78-2121

タクシー

(有) 出雲崎交通 ☎0258-78-2244

出雲崎町・出雲崎町観光協会

〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地

TEL (0258) 78-2291 / FAX (0258) 41-7322

出雲崎町 <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>

出雲崎町観光協会 <http://www.izumozaki.net>

iPhone版



Android版



出雲崎観光案内アプリ配信中【無料】

[ふらり出雲崎](#) [検索](#)